



第44回 全国育樹祭 北海道 2021

つなごう未来へ この木 この森 この緑

10月9日(土)から10日(日)にかけて、「つなごう未来へ この木 この森 この緑」をテーマに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のオンラインでのご臨席のもと、第44回全国育樹祭が北海道苫小牧市「苫東・和みの森」及び札幌市「北海きたえーる」で開催されました。

9日のお手入れ行事では、代表者記念育樹として平成19年の全国植樹祭で天皇后両陛下がお手植えされたアカエゾマツ、ハルニレ、ミズナラ、エゾヤマザクラ、ナナカマドへの施肥と、参加者が植樹したアカエゾマツの枝打ちが行われるとともに、式典後に一般参加者による記念育樹も行われました。

10日の式典行事では、皇嗣殿下のおことばに続き、緑化推進や森林づくり活動に功績のあった方々への表彰が行われました。

メインアトラクションでは、北海道発祥である木育の理念「木とふれあい、木に学び、木と生きる」をテーマに、アイヌの伝統楽器による演奏、演舞の披露や、北海道で木育マイスターとして活動する方々とその活動の紹介がありました。

式典の後半では、金子原二郎農林水産大臣の立会いのもと、全国から選ばれた緑の少年団へ「緑の贈呈」が行われ、最後に国土緑化推進機構の濱田純一理事長による「大会宣言」等が行われ、式典は幕を閉じました。

次回、第45回全国育樹祭は「豊かなおおいた 森林を育み 木と暮らし」を大会テーマに、令和4年11月12、13日に大分県で開催される予定です。



オンラインでおことばを述べられる秋篠宮皇嗣殿下



「緑の贈呈」に立ち会う金子農林水産大臣



メインアトラクションでの木育マイスター紹介



記念育樹される金子農林水産大臣

全国育樹祭とは

健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるため、昭和52年から毎年秋に開催されている国民的な緑の祭典です。全国植樹祭で天皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされる育樹運動のシンボルの行事と、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事のほか、参加者による育樹活動等の行事が行われています。